



つくばみらい市

議会だより

第16号

平成22年5月20日

発行



作品名「里の春」(撮影場所：つくばみらい市小張)

伊奈高校写真同好会 2年 桐島裕也さん 撮影

平成22年第1回定例会及び 第1回臨時会を開催しました。

主な内容

◎平成22年第1回臨時会

◎平成22年第1回定例会は2月23日に開催しました。

◎平成22年第1回定例会(3月)

◎平成22年第1回定例会は、3月2日から17日までの16日間の会期で開催しました。

◎第1回定例会では、平成22年度予算9件、平成21年度補正予算9件及び条例の一部改正、制定など計36件の議案が提出されました。各議案について、予算特別委員会及び常任委員会に付託され、慎重な審議を行いました。

議案の概要
一般質問

も

く

じ

P 2
P 6

発行：つくばみらい市議会／編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤 237 番地 TEL 0297-58-2111 (代表) FAX 0297-20-5760
URL <http://www.city.tsukubamirai.lg.jp> Eメール gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp



会期・日程

- 2月 臨時会 ●
23日(木) 本会議
議案の上程及び説明
質疑、討論、採決
- 3月 定例会 ●
2日(火) 本会議
開会、会期の決定
議会人事、施政方針
議案の上程及び説明
- 3日(水) 本会議
一般質問
- 4日(木) 本会議
一般質問
議案に対する質疑
予算特別委員会の設置
議案の委員会付託
- 5日(金) 常任委員会
総務常任委員会
- 8日(月) 常任委員会
教育民生常任委員会
- 9日(火) 常任委員会
経済常任委員会
- 11日(木) 特別委員会
予算特別委員会
- 12日(金) 特別委員会
予算特別委員会
- 15日(月) 特別委員会
予算特別委員会
- 17日(水) 本会議
委員長報告、質疑、討論、採決
閉会中の継続調査(議運・広報)

平成 22 年 第 1 回臨時会 議決一覧表

| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 結果 |
|-------|----------------------------|--|------|
| 報告第1号 | 専決処分の報告について(第1号) | 道路管理 ^{かし} 瑕疵による車両物損事故の損害賠償の額を定めたことについて報告するものです。 | 報告 |
| 議案第1号 | 平成21年度つくばみらい市一般会計補正予算(第7号) | 歳入歳出それぞれ1億4千540万6千円を追加し、予算の総額を151億6千38万5千円とするものです。 | 原案可決 |

平成 22 年(3月) 第 1 回定例会 議決一覧表

| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 結果 |
|-------|--|--|------|
| 諮問第1号 | 人権擁護委員の推薦につき | H22年6月30日の任期満了に伴い、人権擁護委員法の規定により意見を求めるものです。 | 適任 |
| 諮問第2号 | 意見を求めることについて | | |
| 議案第2号 | つくばみらい市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 「つくばみらい市ラブホテル建築等規制条例」の制定に伴い、委員報酬を追加するため、条例の一部を改正するものです。 | 原案可決 |
| 議案第3号 | つくばみらい市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 人事院勧告に基づく「つくばみらい市職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の条の繰上げ及び、人事考課制度に基づく勤勉手当の評定期間の変更により、条例の一部を改正するものです。 | |
| 議案第4号 | つくばみらい市手数料条例の一部を改正する条例 | 茨城県の障害者に関する自動車税等の減免申請手続きの変更に伴い、手続きに必要な住民票等の発行手数料の免除規定を改正するため、条例の一部を改正するものです。 | |
| 議案第5号 | つくばみらい市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例 | 「身体障害者福祉法施行規則」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。 | |
| 議案第6号 | つくばみらい市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 国において決定されたH22年度以降の保険税負担の軽減対策に基づき、当市が行っている2年間の減免の期間を、後期高齢者医療制度が廃止されるまでに変更するため、条例の一部を改正するものです。 | |
| 議案第7号 | つくばみらい市市民農園条例の一部を改正する条例 | 市民農園の利用の増加に伴い、区画数を追加するため、条例の一部を改正するものです。 | |



| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 結果 |
|--------|---|--|------|
| 議案第8号 | つくばみらい都市計画伊奈・谷和原丘陵部地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 | つくばみらい都市計画伊奈・谷和原丘陵部地区地区計画の変更手続きに伴い、変更内容との整合性を保つため、条例の一部を改正するものです。 | 原案可決 |
| 議案第9号 | つくばみらい市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例 | 公職選挙法の一部を改正する法律の施行により、市長選挙のビラの配布が認められ、その作成費を公費で負担することを目的として条例を制定するものです。 | |
| 議案第10号 | つくばみらい市男女共同参画推進条例 | 性別による固定的役割分担意識や、それに基づく社会の制度または慣行が依然として根強く残されていることから、市、市民及び事業者の役割と責務を明確にし、男女共同参画社会の実現を総合的かつ計画的に推進することを目的として条例を制定するものです。 | |
| 議案第11号 | つくばみらい市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 | 地方公務員法第58条の2の規定に基づき、職員の給与、勤務条件、分限及び懲戒処分等の状況を公表し、本市の人事行政の透明性、公平性を高めることを目的として条例を制定するものです。 | |
| 議案第12号 | つくばみらい市ラブホテル建築等規制条例 | 市内のラブホテルの建築等を規制することを目的として条例を制定するものです。 | |
| 議案第13号 | 市道路線の認定について | 民間開発業者からの寄附や県からの移管などによる30路線について、市道として管理するものです。 | |
| 議案第14号 | 市道路線の廃止について | 用途廃止に伴う路線変更があるため、7の市道路線を廃止するものです。 | |
| 議案第15号 | 平成21年度つくばみらい市一般会計補正予算(第8号) | 歳入歳出それぞれ1千176万3千円を減額し、予算の総額を151億4千862万2千円とするものです。 | |
| 議案第16号 | 平成21年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | 歳入歳出それぞれ7千250万円を追加し、予算の総額を44億7千879万9千円とするものです。 | |
| 議案第17号 | 平成21年度つくばみらい市老人保健特別会計補正予算(第1号) | 歳入歳出それぞれ6千497万7千円を追加し、予算の総額を7千201万5千円とするものです。 | |
| 議案第18号 | 平成21年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 歳入歳出それぞれ444万円を追加し、予算の総額を2億7千749万7千円とするものです。 | |
| 議案第19号 | 平成21年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 歳入歳出それぞれ2千854万2千円を追加し、予算の総額を21億4千771万7千円とするものです。 | |
| 議案第20号 | 平成21年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 繰越金の増額に伴う繰入金金の減額を行うものです。(財源内訳の変更) | |
| 議案第21号 | 平成21年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号) | 歳入歳出それぞれ9万円を追加し、予算の総額を3億932万2千円とするものです。 | |



| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 結果 |
|----------|--|---|------|
| 議案第 22 号 | 平成 21 年度つくばみらい市市営分譲住宅特別会計補正予算 (第 2 号) | 繰越金の増額に伴う繰入金の減額を行うものです。(財源内訳の変更) | 原案可決 |
| 議案第 23 号 | 平成 21 年度つくばみらい市水道事業会計補正予算 (第 3 号) | 収益的収入及び支出で、収入を 1 千万円減額し 10 億 5 千 482 万円とする。支出を 3 千 80 万円減額し 10 億 2 千 426 万 4 千円とするものです。 | |
| 議案第 24 号 | 平成 22 年度つくばみらい市一般会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 149 億 9 千 166 万 2 千円とするものです。 | |
| 議案第 25 号 | 平成 22 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 44 億 9 千 44 万 2 千円とするものです。 | |
| 議案第 26 号 | 平成 22 年度つくばみらい市老人保健特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 72 万 4 千円とするものです。 | |
| 議案第 27 号 | 平成 22 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 2 億 6 千 570 万 1 千円とするものです。 | |
| 議案第 28 号 | 平成 22 年度つくばみらい市介護保険特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 21 億 5 千 192 万 9 千円とするものです。 | |
| 議案第 29 号 | 平成 22 年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 10 億 2 千 969 万円とするものです。 | |
| 議案第 30 号 | 平成 22 年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 6 億 1 千 368 万 9 千円とするものです。 | |
| 議案第 31 号 | 平成 22 年度つくばみらい市市営分譲住宅特別会計予算 | 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 5 千 476 万 9 千円とするものです。 | |
| 議案第 32 号 | 平成 22 年度つくばみらい市水道事業会計予算 | 収益的収入及び支出で、収入を 10 億 7 千 423 万 8 千円とする。支出を 10 億 2 千 428 万 2 千円とする。資本的収入及び支出で、収入を 2 億 4 千 469 万円とする。支出を 4 億 2 千 152 万 5 千円とするものです。 | |
| 発議第 1 号 | 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の NPT 再検討会議での採択に向けた取組を求める意見書 | 昨年 4 月のオバマ米国大統領の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、我が国が米国などと共同提案した核軍縮決議案の国連での圧倒的多数の賛成を得ての採択など、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速している。こうした世界的な流れを更に確実なものとし、核兵器廃絶を早期に実現するためには、明確な期限を定めて核保有国を始め各国政府が核兵器廃絶に取り組む必要がある。よって、国会及び政府におかれては、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、NPT 再検討会議において同議定書を議題として提案していただくとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけていただくよう、内閣総理大臣等への意見書の提出を求めるものです。 | |



| 議案番号 | 議案名 | 議案の概要 | 結果 |
|-------|------------------------------|--|------|
| 発議第2号 | 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対する意見書 | 本来、民法は家族を保護する為の基本的な制度であり、安定した家庭生活が営まれるよう夫婦関係、親子関係等を保護しているものである。しかし、選択的夫婦別姓制度が導入されることになれば、夫婦の一体感の希薄化、ひいては、離婚が容易に出来る社会の形成に繋がることが懸念される。のみならず親子別姓や場合によっては兄弟別姓をもたらすこともあり、子供の心に取り返しのつかない傷を与えることになりかねない。子供に与える影響を鑑みれば、我が国の将来に大きな禍根を残すことになることと危惧するものである。よって、婚姻制度や家族の在り方に極めて重大な影響を及ぼす「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」を行わないよう強く求め、内閣総理大臣等への意見書の提出を求めるものです。 | 原案可決 |
| 発議第3号 | 普天間基地の無条件返還を求める意見書 | 普天間基地は、住宅密集地に隣接し「世界一危険」といわれ、騒音被害も深刻である。鳩山内閣は、普天間基地の「移転先」を5月までに決めるとしているが、「移転先」と名前があがった地方自治体すべてが反対を表明し、完全に行き詰っている。普天間の苦しみはどこに移しても同じ苦しみであり、地方自治体の一員として傍観的態度はとれない。鳩山内閣は「県民の思いと日米合意とどちらも大切」というが、両者は決して両立しない。それならば「県民の思い」を優先することこそ主権国家のあり方だと思ふ。よって、アメリカへの普天間基地の即時閉鎖・無条件返還を要望し、内閣総理大臣への意見書の提出を求めるものです。 | 原案否決 |

| 番号 | 請願・陳情名 | 結果 |
|-------|--|-----------------|
| 陳情第1号 | 「自主共済制度の保険業法適用除外」実現を求める陳情 | 全議員及び執行部に配布しました |
| 陳情第2号 | 核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について | |
| 陳情第3号 | 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情 | |
| 陳情第4号 | みらい平駅駐輪場公衆トイレ設置計画の撤回に関する陳情 | |



下平柳 相島 宏(再任)

板橋 豊島美智子(再任)

人権擁護委員2名が任期満了となるため、人権擁護委員法の規定により議会の意見を求められ、次の方を適任と認めました。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

諮問第1号・第2号





聴き

知しりりたいたい

市政

一般質問
(要旨)

定例市議会における
一般質問の要旨を掲載します。

一般質問の質問要旨については、
議員本人の要約によるものです。

市長の政治責任について

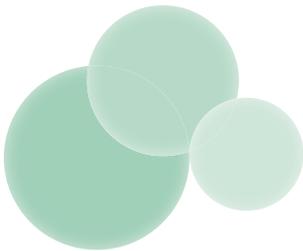
海老原 弘 議員

●海老原議員 企業誘致については、伊奈町の時に前町長が県と一体になって進めようとした30町歩位の「狸穴大和田工業団地」の整備が飯島町長に引継がれながら、何度か議会で質問したところでは「地主さんの賛同が得られない」と、なか

なか進行しないまま20年が経過してしまった。その間に谷和原村では、ナショナル住宅やクボタ鉄工という大きな企業が工場を作った。ところが、伊奈町では数少ない従業員数100人前後の企業が町外へ流出してしまい、私が質問すると「移転するという話は聞いていない」という答弁であったが、結果は、私の指摘どおり。市長はこれに責任を感じないのか。

が、なかなか同意が得られず、私が就任した後の同年12月から当時の管理職の職員全員を動員して戸別訪問を行うなど、町を挙げての事業に取り組んだ。しかし、開発すること自体に一部の方の理解が得られず、やむなく断念するに至った。ご理解を頂きたい。

☆ (掲載以外の質問事項)
介護福祉の移送サー
ビスについて



飯島市長退陣表明について

川上 文子 議員

●川上議員 市長は退陣に当たり、自らの責任を明らかにする必要がある。ワープ江戸事業は、大赤字を抱えて破綻をし、メディアパーク事業は全く立ち上がらなかった。この事業は、飯島市長自らが無理やり起こし引きずってきた事業だ。市長が伊奈町長就任直後あの地域の地権者や開発会社とかわした”約束”と

いうものに大きく縛られ、県が財政危機によりこの事業廃止の方向を掲げる中でも無理やり進めてきた。この判断の誤りによって起こした被害は、とても大きい。出資金31億円は全てなくなり、金融機関は6億円の債務放棄をさせられた。伊奈町がこの事業に投じた15億円は、歴史公園からの収入では150年かかっても取り戻せない。



ワープステーション江戸(南太田)



退陣に当たり、市民への謝罪として今回の退職金1千430万円を寄附金として置いていってはどうだろうか。

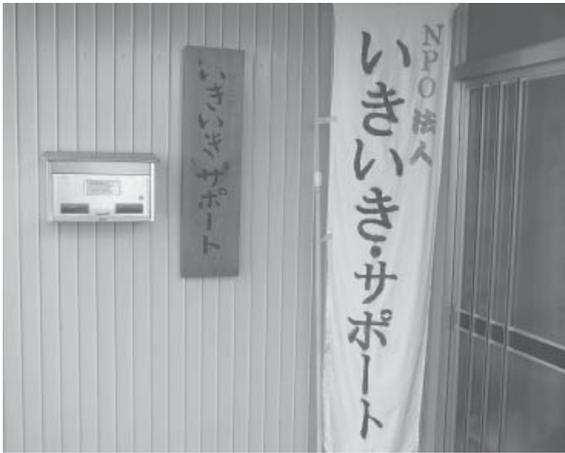
●市長 ワープステーション江戸事業については、この施設が整備されたことにより市や県に経済波及効果をもたらしている。また、今後のこの地域の開発については、県が事務局となる「つくばみらい企業誘致等促進協議会」により、引き続き企業誘致を行うこととなり、この地域の振興策を進めていく礎を私がつくったと思っている。なお、市への寄附については、私が考えることである。

- ☆ (掲載以外の質問事項) 県西広域水道料金が引き下げられる。市水道料金の引き下げを
- ☆ 官製ワーキングプアの解消を

NPO 法人「いきいき・サポート」への支援を

古川 よし枝 議員

●古川議員 NPO活動 法人「いきいき・サポート」は5年前に福祉有償送迎ボランティアとして国土交通省の認可を受け、マイカーによる移送サービスを行っている。利用会員は介護保険認定者や障害者など154人で、今年度4月から2月までの利用は1千431

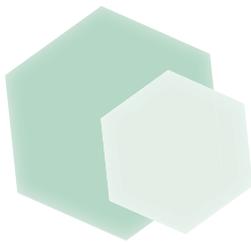


NPO 法人「いきいき・サポート」 (市役所伊奈庁舎敷地内)

件、1日平均7件、そのうち1千9件、7割が主に市外の病院への送迎である。高齢者やその家族の足として、なくてはならないものとなっている。しかし、高齢化と共に団体は大変厳しい運営に直面しており何らかの支援が必要だと考える。団体は市に支援を求めて相談をしているが、市は団体からの相談にどう応えていくのか。

●保健福祉部長 現在、市では、障害のある方や高齢で介護を必要とする方の支援として、通院、通所の際の交通費助成、また、社会福祉協議会への委託により外出支援サービスを行っているが、「いきいき・サポート」の対象者は、その基準よりも緩やかであることから、すぐに支援を行うことは難しい。しかし、市としても何らかの支援が行えないか調査研究をしなければならぬと考えている。

- 市長 市長の引継ぎの際に、要望があったことについてはお伝えしたい。
- ☆ (掲載以外の質問事項) 75歳以上の方の保健予防の増進について
- ☆ 児童の自転車通学について



3人乗り自転車の助成について

坂 洋 議員

●坂議員 幼児2人を自転車の前後に乗せる3人乗りは非常にバランスを崩しやすく、事故の危険性は大変高いものである。もし事故が起こった場合には、幼児の命に及ぶような重大事故になる。警察庁が認める安全基準を満たす3人乗り自転車は、一般の自転車に比べて4万円から8万円ほど高く、今の厳しい経済情勢の中、若い世代が3人乗り自転車購入の新たな負担をするのは大変であることから、購入費の助成制度を考えてはどう



か。また、3人乗りをする期間は短く、限定的なことから、自転車の有料または無料のレンタル事業を検討してはどうかと思う。考えをお伺いしたい。

●市民経済部長 現在、県では、国の安心子ども基金「地域子育て創生事業」により市町村が行う3人乗り自転車の貸出事業に対し、原則、定額10分の10を補助する新たな制度を進めている所である。本市としては、全国各地の取り組みを勘案の上、本市の需要等をより詳細に検討し、制度の導入や助成、若しくはリースがよいのかを考えた

☆ (掲載以外の質問事項)
市の人事情形について



介護保険事業計画の推進と保険料について

染谷 礼子 議員

●染谷議員 今、介護現場は、老老介護やシングル介護、介護うつ等の問題が深刻化している。今後の超高齢社会に備え、公明党は介護調査を行い、本市を含め全国で10万件を超える貴重な声を伺った。調査の結果から、介護施設不足の問題や介護従事者の待遇問題、保険料の負担等の問題点が明らかとなった。基本的には、国が抜本的な基



特別養護老人ホーム いなの里 (長渡呂新田)

盤整備をすることであるが、本市の調査からも介護施設や保険料についての不満の多いことから、市の施設待機者状況と今後の解消策について伺いたい。また、保険料については、厳しい経済状況から低所得者の負担軽減を考慮し、被保険者の負担能力に応じた対応が必要である。現在の保険料所得段階区分を拡大して、負担の適正化を図るようにはどうだろうか。

●市長 介護老人福祉施設については、全国的に不足している状況である。●保健福祉部長 市内の介護老人福祉施設の待機者については、特別養護老人ホームである「いなの里」と「ぬくもり荘」で180名前後と推定している。なお、所得段階区分の拡大については、24年からの第5期計画策定の際に検討して参りたい。

☆ (掲載以外の質問事項)
国民読書年に於ける市の取り組みについて



特別養護老人ホーム ぬくもり荘 (西丸山)





勇退に当たって、飯島市長の首長としての5期20年を総括し自己評価をしてください

倉持 悦典 議員

●倉持議員 市長にあっては、旧伊奈町時代を含め5期20年に亘る首長としてご苦労様でした。さて、旧伊奈町そして本市は大いに発展の可能性を秘めた立地にあるが、全戸配布された「笑顔がやく未来予想図」によると、伊奈・谷和原地区での対比は、製造品出荷額で約10倍、商品販売額で約3倍、従事者数においても約2倍、世帯当たりの平均収入は100万円の差、その他各業種の伸長率等、いずれも谷和原地区が圧倒的に多い数字

が並んでいる。市長として素晴らしい約束事の記載があるが、仕事は結果が評価だと思う。この数字を見て、ぜひ首長20年の総括として胸を張れる点、至らなかつた点等個々にお答え頂き、あえて自己採点して頂きたい。

●市長 確かに反省する点は十分にある。しかし、私が就任した時は、この様な不景気の入口に入った時点であり、また、先輩方が行ってきた政策が異なっていた。谷和原の場合は、最初から線引きを行い企業誘致を推進してきたが、伊奈は工業地は作らず住宅専門で、人口の増加に取り組んできた。その結果、住宅問題を始め、ずいぶん残務整理を行うことになった。ご批判は甘んじてお受けするが、伊奈と谷和原の比較は、あゆみの違いによるものであり、そのよくな中で、合併後は格差がないように努力してきたが、企業誘致に当たっては、用地のある谷和原地区への誘致に努めたも

のである。自己評価については、議会や市民の皆さんに評価していただくものだと考えている。

企業誘致について

堤 實 議員

●堤議員 企業誘致については、市民からも積極的に進めて欲しいとの要望が出されている。現在、どのような方法でPRしているのか。誘致活動の進捗状況と、今後の見通しについて説明頂きたい。この様な不況の中で進出する企業には、特別優待措置を設ける等、検討すべきではないか。企業誘致は、全国的に必死に取

り組んでいる。当市は、他県にはない固有の魅力がある。都心から40km圏で、首都圏では土地の価格が極端に安い。市内に国道が2本あり、工業団地もある。みらい平から板橋方面も誘致に適した土地も多数で、税収の問題解決や安定した雇用を図る等、投資効果の面からも優良企業の誘致活動は急務である。「ピンチをチャンスに」街の活性化の起爆剤となるよう市民は願っている。執行部の今後の取り組み姿勢について、答弁頂きたい。

●市長 市では、企画政策課、産業政策課、そして区画整理区域内においては特定事業推進課が中心となつて企業誘致を図っており、21年度には、私も同道して2社を訪問し当市への進出を要望したところである。しかしながら、この様な景気の中では進出は非常に難しいとの返事で、実現には至っていない状況である。

進室と産業立地推進東京本部を訪問し、当市のPRをお願いしたところであるが、各企業も設備投資に対する意欲が大変落ちている状況で、誘致実現はなかなか難しい現状である。さらに、県全体の企業立地状況を見ても落ち込んでいる状況であるが、こつこつと時期こそ、トップセールス等いろいろな方法で各企業に当市の魅力をご理解いただくことが一番肝要ではないかと思っている。

●市民経済部長 市では昨年度、インターチェンジにおけるパンフレットの配布の実施や、また、各種商工のイベント祭に地域物産のキャンペーン等を行っているが、地域並びに魅力を伝えることが非常に大切であると考えている。今後も県との連携を一層強化し、企業情報の収集や効率のよいPR等、戦略的誘致活動を進め、道を切り開いていきたいと考えている。



討 論

議案第15号 平成21年度
つくばみらい市一般会計
補正予算(第8号)

*川上議員から反対討論
がありました。

議案第16号 平成21年度

つくばみらい市国民健康保険
特別会計補正予算(第4号)

*川上議員から反対討論
がありました。

議案第24号 平成22年度

つくばみらい市一般会計予算

*古川議員から反対討論
がありました。

議案第25号 平成22年度

つくばみらい市国民健康
保険特別会計予算

*川上議員から反対討論
がありました。

発議第2号 「選択的夫婦
別姓を認める民法の一部改
正」に反対する意見書

*川上議員から反対討論
がありました。

*豊島議員から賛成討論
がありました。

◆インターネット 録画中継配信中

つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、平成21年3月定例会分からインターネットのホームページにより、録画中継の配信を行っています。この事業は、市の重要な課題は何かを多くの市民に知っていただき、情報の公開と共有を図ることを目的としています。なお、それぞれの映像の掲載期間は1年となります。編集にはフリーソフトを活用し、経費をかけずに作業を行っています。どうぞ、ご覧ください。

音声による議会だより

議会だより第8号から市のインターネットホームページ上で、音声による議会だよりを始めました。音声は、ボランテイア団体である『朗読グループかたくり』の方々によるもので、活動は、声の広報としてつくばみらい市の「広報つくばみらい・議会だより・社協だより」などの音声訳を行っているっており、社会福祉協議会を窓口目目の不自由な方々を対象に、無料でカセットテープの貸し出しをしています。音声による議会だよりは、お借りしたテープをデジタル変換して作成しています。ぜひ、お聴きください。

◆会議録の公開 ◆について

本会議の会議録は、インターネットのホームページや市立図書館及び議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から3カ月後となります。

市議会を傍聴しませんか!!

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

◎傍聴の手続き

傍聴は、先着順で傍聴券に住所、氏名、年齢をご記入していただくだけで、傍聴席(定員50人)に入場できます。なお、常任委員会等の傍聴席は、定員5人となっています。

◎傍聴場所

つくばみらい市の議会は、谷和原庁舎3階です。

- ◎第1回臨時会 傍聴者数 0人
- ◎第1回定例会 傍聴者数 113人(内小中学生66人)

≡ 議会TV放映中 ≡

議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。



○ 掲載写真募集! ○

あなたの写真を議会だよりに掲載しませんか? 詳しくは、議会事務局にお問い合わせ下さい。



小中学生のみなさんが議会を見学!!

市立谷井田小学校（浅野校長）6年生のみなさんが、議会の一般質問を傍聴しました。感想文をお寄せ頂きましたので、その一部をご紹介します。

なお、市議会では、21世紀を担う子供達に小中学生の時代から議会に興味を持っていただき、市民にとってより一層身近で親しみやすい議会を目指す取り組みをH20年度より開始し、市内小中学校単位での本会議傍聴を促進しています。



谷井田小6年1組のみなさん

谷井田小 6年1組

みちやま まゆ
道山 舞由さん

市議会を見学して

私が市議会を見学をした時に話し合っていたことは、公共、福祉の問題についてでした。つくばみらい市で今おこなわれているかいご福祉のいそうサービスや、公共施設のきらくやまなどの、今後どうしたら、もっと便利でムダがないかを、議会でいっしょうけんめい話し合っていました。こうした議員さんたちのがんばりで、障害者やお年寄りが快適で暮らしやすいつくばみらい市になるんだなと思いました。これからも福祉だけでなく、ほかの事についても、つくばみらい市がより良い市になるよう、がんばってほしいです。

谷井田小 6年2組

やまき しょうた
八巻 翔太さん

市議会を見学して

市議会をしている所に入って、最初に思ったことは、思ったよりたくさんの人で行われていたことです。議会の内容は、きらくやまのことで、できあがったものまで話し合われていたのので、びっくりしました。質問する人も、答える人も、熱心に話し合っていて、すごいと思いました。議長も、あれだけ話をしていて、まとめることができるのは、議長も大役なんだなと思いました。市議会を見学して、議員ががんばっているから、大人になったら選挙で必ず投票して、議員を手助けしたいです。



谷井田小6年2組のみなさん



◆つくばみらい市議会議員補欠選挙の当選者◆

平成 22 年 4 月 25 日の市議会議員補欠選挙で、次の方が当選されました。

議席順に、①氏名(敬称略)、②年齢(5月20日現在)、③所属政党、④当選回数、⑤住所地を掲載しました。



2番
 なかじま きよかず
 ①中島 清和
 ② 61 歳
 ③無所属
 ④ 1 回
 ⑤福岡



1番
 ひろせ としゆき
 ①廣瀬 敏之
 ② 37 歳
 ③無所属
 ④ 1 回
 ⑤谷井田

会期日程のお知らせ

平成 22 年第 2 回定例会は 6 月に開催を予定しています

日程等については、議会運営委員会(通常は開会日の 7 日前に開催)で協議し、定例会初日の本会議で決定されますので、議会事務局へお問い合わせ下さい。なお、議会運営委員会終了後、日程案をホームページでもお知らせいたします。

議会広報特別委員会



| | |
|------|-------|
| 委員長 | 坂 洋 |
| 副委員長 | 古川よし枝 |
| 委員 | 山崎 貞美 |
| | 海老原 弘 |
| | 横張 光男 |
| | 秋田 政夫 |

編▼集▼後▼記

新緑のまぶしい季節と呼ぶように、つくばみらい市も新市長が誕生し、また、新たに補選で選ばれた新議員も加わり、議会がスタートすることになりました。新市長と共に心あらたに「住民が住みやすいまちづくり」の為、一丸となって真剣な議論を展開していくことを期待するところです。

市長と議会、二元代表制でありながら市長の活動は大きく取り上げられるが、「議会」は内部機関の裏方であり、議会の動きが表面化することは少ないものです。執行機関を監視し、政策を提言している議会の役割を市民の皆様には正確に、そして十分に伝える為に「議会だより」があります。目に留めてもらう、見てもらう、読んでもらう為に、新たに再編された議会広報特別委員会のメンバー全員の熱意と知恵で紙面づくりに取り組んで参ります。

議会広報特別委員会

委員長 坂 洋

◎ご意見ご感想をお寄せください◎

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。

〒300-2492 つくばみらい市加藤 237 番地 つくばみらい市役所 議会事務局まで
 ☎58-2111 FAX20-5760 Eメール gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp